

広島県備北地区 認知症連携拠点医療機関



三次神経内科クリニック 花の里 季刊誌

Vol. 1 2013. 秋号

— ご挨拶 医療法人微風会 理事長 和泉 唯信 —

この度、当法人の三次神経内科クリニック花の里が広島県備北地区の認知症連携拠点医療機関に選ばれました。皆様かたのお力添えで地域のお役に立てるように努めてまいりますので引き続きご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

該当地域の備北地区（三次市、庄原市）は人口 10 万人で高齢化率は 30% を超えています。認知症の原因で最も多い疾患はアルツハイマー病です。アルツハイマー病になりやすい要因がいくつか報告されていますが最も強力な要因は加齢現象であるとされています。つまり超高齢化社会の日本においては今後増加していくことが確実視されています。この備北地区も例外ではありません。ただし高齢化率が高いということは認知症患者が人口の割に多いことを示します。そのような状況ですから地域の特性を活かした認知症治療・ケアの構築が大切になってきます。認知症連携拠点医療機関として地域の皆様と協力してそのような体制を作っていきたいと思えます。また当院では認知症（アルツハイマー病）に対する新しいお薬の治験も行っておりますので興味をお持ちの方はお問い合わせください。

— ご挨拶 三次神経内科クリニック花の里 院長 伊藤 聖 —

在広島県下に於いて「認知症疾患医療センター」に指定されている 6 施設は全て精神病院です。しかしながら今回備北県域で指定された当院は神経内科であり入院設備はありません。

それはつまりは認知症を精神病として対応するのではなく、神経の病域として診療すると言う事です。

もはや“国民病”ともいえる認知症ですが、今後増加しつづけることは明らかです。それに対し、対応可能な施設や病院の数は全体的に不足し、在宅での介護が更に重要になってきます。その事実が解っていながら在宅ケアを支える介護保険の利用は便利さとはほど遠く、行政のサービスも十分ではありません。

まして、24 時間 365 日途切れのない介護を担っている家族には限界があります。その様な状況の中で、いかにして認知症の人や家族を地域社会が支えていけば良いのか。加えて他の地域では行っていない試みを検討する必要があります。

認知症診療に関わっている保健医療職や福祉職の方々には一層のご協力を仰ぐと共に地域包括支援センターなど各関連機関との連携を基盤に、地域の皆様のご期待に精一杯応えて行ける様努力する所存です。



～研修会のご案内～



日時：2013年9月28日（土）14:00～15:30

場所：三次まちづくりセンター

（三次市十日市西 6-10-45）

内容：第1部「認知症疾患医療センター等事業の
概要と備北圏域での取り組み」

三次神経内科クリニック花の里 院長 伊藤 聖 医師

第2部「相談事例より

BPSD - 認知症の行動心理症状 - と向き合った
施設の対応」

三次神経内科クリニック花の里 武内 寿磨子 看護師

対象：認知症性疾患の医療、保健、福祉、行政に関わる
職員の皆様

※一般の方も遠慮なくご参加ください



— 認知症連携拠点医療機関（認知症疾患医療センター）受診の流れ —

相談

ご本人様、家族、関係機関からの相談に専門相談員が対応し、必要に応じて受診予約をおこないます



初診

日常生活状況や症状についての問診をおこないます
（例）日々のご様子、介護サービス利用状況、服用している薬、既往歴 など



検査

問診をもとに、医師が必要と判断した検査をおこなっていただきます
（例）MRI・CT、神経心理学検査、血液検査、尿検査 など



再診

問診や検査結果をもとに認知症の有無や進行の程度、原因やタイプなどの鑑別診断をおこない、今後の治療方針について説明をおこないます

認知症連携拠点医療機関
三次神経内科クリニック花の里

【時間】9：00～12：00・14：00～17：00

【電話】0120-870-318（相談窓口専用電話）

【担当】武内・伏川・三宅

医療法人微風会

三次神経内科クリニック花の里

〒：728-0013

広島県三次市十日市東 4-3-10

TEL：(0824) 63-0330

FAX：(0824) 63-0331